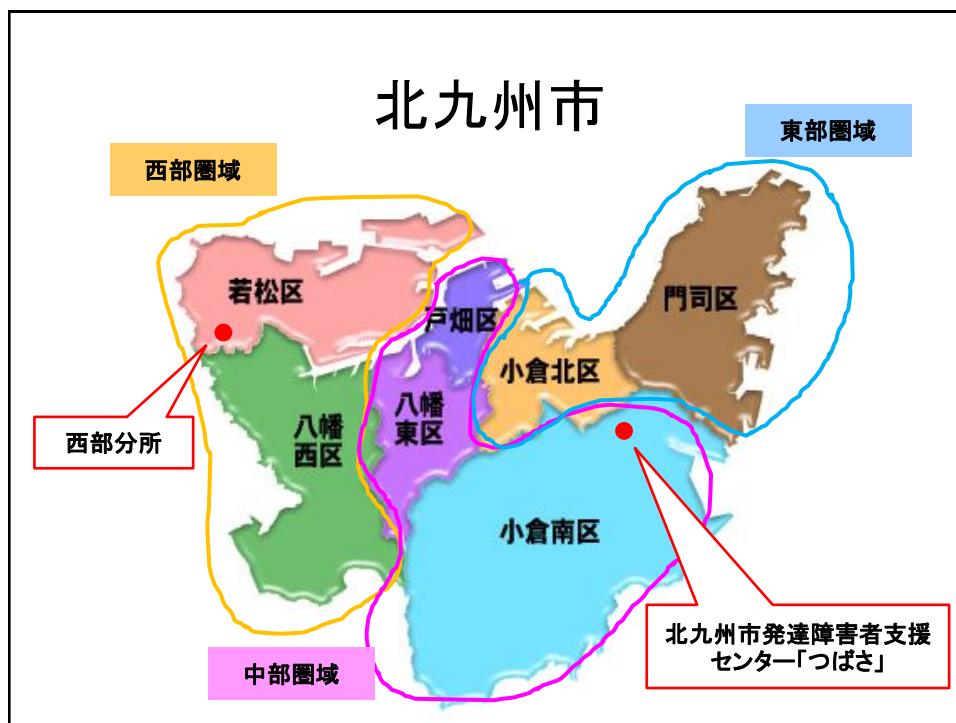


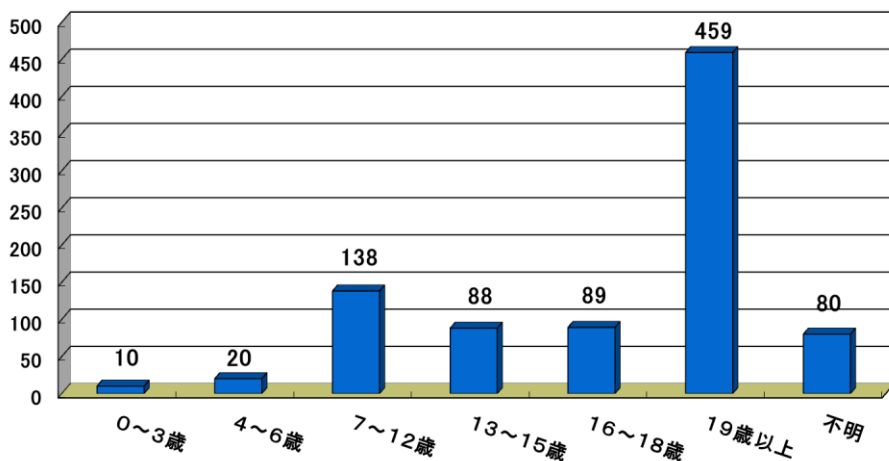
# 成人期支援の課題と機関連携 ～福祉サービス事業所へのコンサルテーション

平成25年6月15日(土)  
平成25年度 発達障害者支援センター全国連絡協議  
実務者研修会 第2分科会

北九州市発達障害者支援センター つばさ



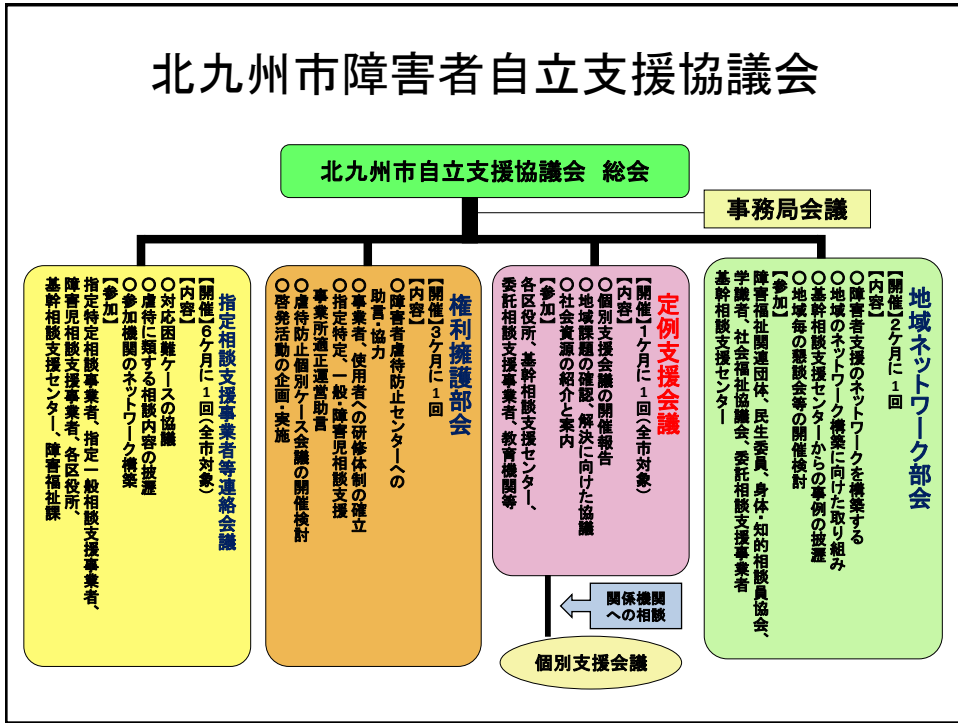
## 平成24年度相談者の年齢層（実人数884人）



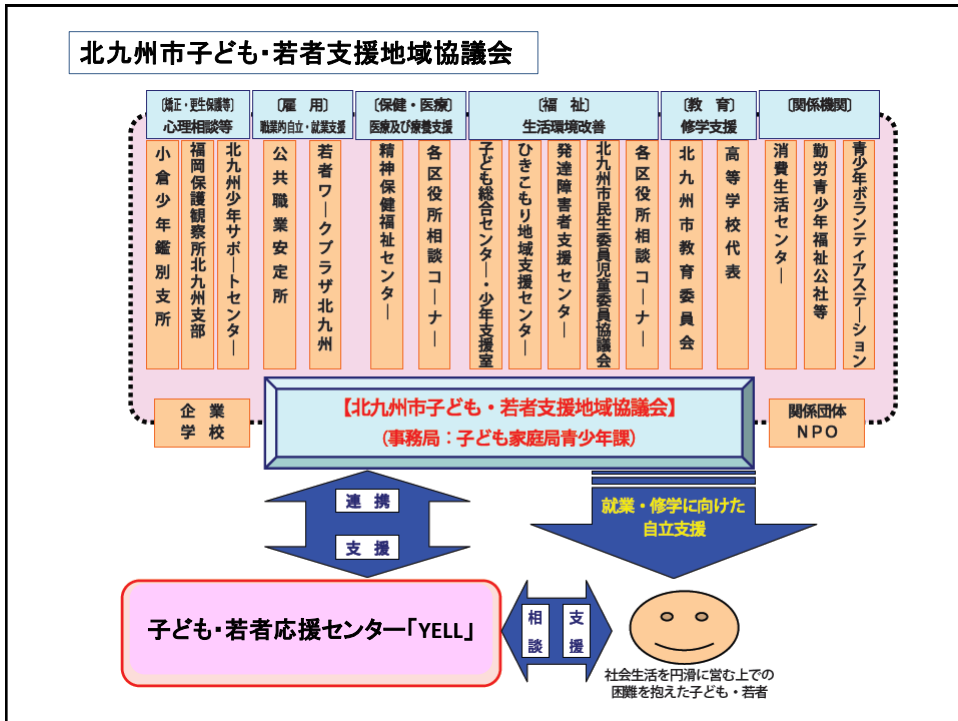
## 成人期の機関との連携について



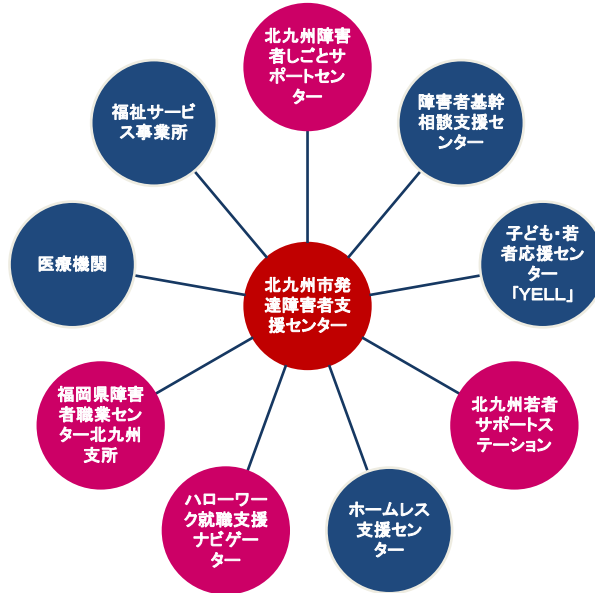
# 北九州市障害者自立支援協議会



## 北九州市子ども・若者支援地域協議会



## 就労支援における連携



## 成人期支援における地域の課題

- 診断できる医療機関が少ない
- 定期的なカウンセリングや相談に応じられる場が少ない
- SSTを提供できる場が少ない
- 福祉サービス事業所の利用が難しい方の、日中活動の場がほとんどない

など

## 福祉サービス事業所(作業所)への支援

市内の福祉サービス事業所は数としては充実しているが、不適応行動を起こすケースなどもあり、専門性の向上が望まれる。



実践に役立つ研修会  
機関コンサルテーション

## 平成25年度 支援者に向けた研修

テーマ	日程	講師
発達障害者支援のための初級セミナー -TEACCHに学ぶ-	7月6日(土) 7日(日)	諏訪 利明 氏 (川崎医療福祉大学 医療福祉学科 准教授) 重松 孝治 氏 (川崎医療福祉大学 医療福祉学科 特任講師)
発達障害者支援のための 実践セミナー	A 行動の見方	8月3日(土) 酒井 一榮 氏 (北九州市立引野ひまわり学園 園長)
	B PECSについて	9月7日(土) 今本 繁 氏 (ヒラミット教育コンサルタントオブジャパン 代表)
	C 高機能発達障害児者の理解と支援	11月30日(土) 河野 義恭 氏 (北九州市立総合療育センター副所長 小児科医)
フォローアップセミナー	1月26日(日)	今本 繁 氏 (ヒラミット教育コンサルタントオブジャパン 代表)
実践報告会	未定	未定

構造化セミナーで学んでいただいたことが、  
実際の支援に生かされにくい理由は？

- 対象者のタイプが違う？
- 自身の職場で、どのように生かせばよいかわからない？
- 施設職員間のコンセンサスが得られ難い？
- 取り組む時間がない。

## 平成25年度 福祉サービス事業所への コンサルテーションを強化

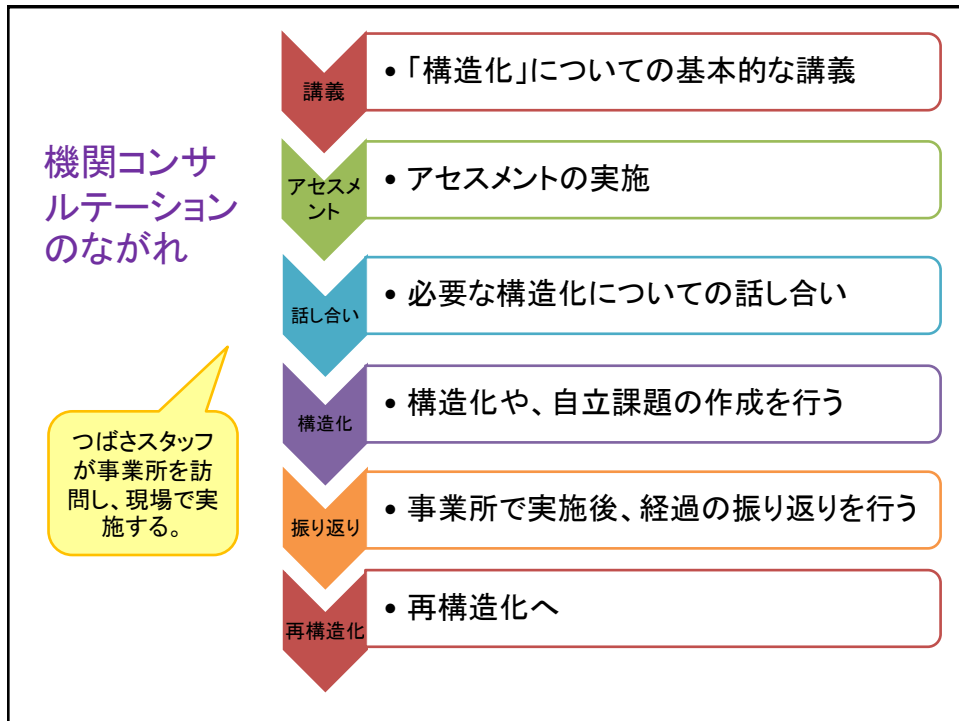
今までのコンサルテーションの問題点

- 一部の職員には理解が深まるが、施設全体の支援技術の向上につながりにくい。
- 基本的な理解がなされないまま、方法論的な取り組みになってしまう心配がある。



支援技術の向上を望んでいる事業所を探す。

職員が、成功体験を感じやすい方をモデルケースとして抽出し、  
実際の現場で評価や構造化を体験してもらう。



## 期待される効果について

- コンサルテーションの流れがある程度はつきりしており、事業所としても見通しを持ちやすい。
- 職員が成功体験を積むことで、モチベーションが維持されやすく、支援の効果や必要性などが理解しやすい。
- 事業所全体で取り組んでもらうことで、時間が確保され、また共通理解が出来やすい。

今年度は試行的な実施。実施後は、コンサルテーションを実施した事業所の意見を伺ったり、対象者の変化を追いながら、効果検証を行う。



効果が得られれば、地域へ発信



研修会や機関コンサルテーションを通じた発達障害者支援の人材育成へ。